

## 私のお父さん

滋賀県彦根市立金城小学校六年 北村 七海

私は、お父さんが最近あまり好きではありませんでした。お父さんは、鉄筋工の仕事をしています。建物を建てる時のきその仕事です。外仕事なので、とても真っ黒です。でも、疲れているのはわかるのですが、いつも家ではパンツ一丁で、私にあれして、これしてと言っただけです。私は、「お父さんは家のこと何もしてないのに、文句ばかり言わんといてー！」

いつも思っていました。でもこの間、夏休みなので妹とお父さんの仕事についていきました。お父さんは、家とは別人でした。ゴロゴロ寝てばかりのお父さんしか知らなかったのですが、重い鉄をはこんだり、とてもテキパキ動いていました。かっこよかったです。その時、発見したことがありました。お父さんの右の肩が下がっていたのです。お父さんに聞いたら、「もう何十年も鉄筋を右肩でかついでるから、右だけ下がってしまったんよ。」と言っていました。

私は、そりゃ疲れるなあと思いました。きれいなスーツを着て会社に行っているお父さんがかっこいいと思っていたけれど、汗をいっぱいかいて、真っ黒になって頑張っているうちのお父さんもかっこいいなあと初めて思いました。

世の中には、色んな仕事があります。でもその一つ一つが、誰かのためになったり社会のためになるのだと思います。お父さんのようにしんどい仕事も誰かがしないと成り立たないと思います。

お父さん、いつも汗臭い！とかきたないとか言っでごめんなさい。お父さんは、私達家族のために一生けん命仕事をしていてくれるのに……。

お父さんいつもありがとう！。お父さんの右の肩が下がっているのは、私達家族を支えてきてくれた証なんだと思います。

これからも決して忘れてはいけなと思います。でも体には気をつけて、ケガをしないようにして下さい。

私は、そんなお父さんをほこりに思います。